

寒川町障がい者福祉計画見直しのためのアンケート調査に関して寄せられたご意見と対応・考え方等

1. アンケートの実施方法等に関すること

No.	意見分類	ご意見の内容	ご意見への対応・考え方等
1	実施方法に関すること	【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 無作為抽出で1,000人にアンケートを行うとのことだが、障がいがある子どもがいる家庭やご本人に障がいのある成人の方等、色々な方がいると思うが無作為抽出でバランスがとれるのか。	⇒ 無作為で抽出を行いますが、前回実施したアンケートの障がい種別ごとの回収率等（前回のアンケート回収率は身体障がいの方が56.4%、知的障がいの方が45.3%、精神障がいの方が39.6%）も考慮しながら、障がい種別、また、その中でも年齢や性別等バランス良く抽出し、アンケートを行うように考えています。
2		【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 前回2,000件でアンケートを実施しているが今回は1,000件。アンケートの回収件数が減ると思われるがどう考えているか。	⇒ また、多様なニーズを把握し、次期計画へ反映するためどうしても聞き取り項目は多くなってしまいますが、できる限りわかりやすいものに修正させていただきました。
3		【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 身体、知的、精神で回収率が違うと思うが、回収率を上げるために何か工夫は考えているか。	⇒ いただいたご意見のとおり町福祉課といたしましても当事者の方や障がい者団体から直接聞き取りを行うなど工夫が必要だと考えています。
4		【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 アンケートにご協力していただけなかった方の気持ちや意見にも目を向けていかないと本当に困っている方の意見が取り込めないのではないかと。	⇒ また、アンケートご記入にあたってのお願い事項の中の「※この調査について、ご不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。」の一文を「 ※この調査について、わからないことがありましたら寒川町役場福祉部福祉課にご連絡ください。 」に修正させていただきました。必要に応じて町福祉課職員がサポートさせていただきます。
5		【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 アンケート未回答者に対して、アンケートをなぜ回答できないのか分析していかなければならないと思う。未回答の方全員に対してはできないことは承知しているが、ご本人と直接会うまたは集まっていたら聞いて取り取ることも必要と考える。	⇒
7		町の計画見直しに際しては、障がい者個人に対するアンケートの実施だけでなく、障がい者団体に対するヒアリングの実施もお願いしたい。	⇒
8		アンケートにルビを入れても読むことができない聴覚障がい者がいるので、必要に応じて絵が入っていたり、町福祉課窓口へ行けば説明をしますとの一文を入れてもらいたい。また、アンケートの記入が難しい障がい者もいると思うので、例えば、家族や支援者に書いてもらうこともできない一人暮らし等の障がい者に対しては、町職員が訪問して説明や代筆をするなどの配慮をして欲しい。	⇒
9		知的障がいの場合、「ご本人は知っていましたか」の質問は全て知らないとなり、番号で選ぶ回答は全て「わからない」「その他」になる。本人の意見はほぼないので回答に困る。親の意見で回答して良いのか。こういうことで回収されない場合もあると思うので、アンケートとして成立するのか疑問に思う。	⇒ アンケートの冒頭で「この調査にご回答いただく方はどなたですか。」という質問を設けさせていただいております。その中で、「1 あて名ご本人が記入する」、「2 本人の意見を確認して家族や支援者などが記入する」、「 3 本人の意見を確認することが難しいので、家族や支援者などが記入する 」の選択項目を設けさせていただいており、ご本人が回答できない場合に家族等の方に記入のサポートをいただくことも想定している作りとなっております。

2. アンケート協力依頼文に関すること

No.	意見分類	意見内容	意見を踏まえた対応状況
10	依頼文の内容について	【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 アンケート協力依頼文が前回と比べて非常に簡単になってわかりやすくなっているところが良い。難しい熟語が減って読みやすい文章になっていることで障がいがある人ない人関係なくわかりやすい。	⇒ アンケート協力依頼文だけではなく、アンケート全体を通して可能な限り文章や質問内容を簡素化する等、回答者がわかりやすいアンケートに修正させていただきました。

3. 「8 福祉サービス等の利用状況・意向について」に関すること

No.	意見分類	意見内容
11		【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 サービスの内容について、精神障がい者の場合、サービスを利用している方はそんなに多くない。受けているサービスも、居宅介護、移動支援、就労関係の3つ程度なので、利用できるサービスを分かりやすくできないか。また、精神障がいの方はサービスを利用していない方も多いため、質問の冒頭に障がい福祉サービスを利用していますか。利用していないのですか。という質問が必要ではないか。また、利用していない理由を聞く項目も必要ではないか。
12	全体に関すること	【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 サービスの内容について、現在利用していないで、今後も利用する意思がないですよという方は、〇〇ページに進んでくださいとサービスの質問を省略できるつくりにはどうか。また、サービスの質問順を利用者がわかりやすいように似たサービスをまとめる等工夫があれば回答する側がわかりやすいのでは。
13		自立支援協議会の中でお話があったように、「サービス名」「サービスの内容」の部分が特に文字数が多くルビも多く読みづらいと思います。障がい者本人も家族の方も高齢者が増えている現在、全部回答するにはかなりの労力が必要になると思われます。
14	タ. 短期入所に関すること	タ. 短期入所の利用量、希望量について、月単位で日数を質問した方が良いと思う。 1 現在利用している利用量 ① 月に（ ）日間 ②利用していない 2 今後の利用の意向または希望量 ① 月に（ ）日間 ②利用の必要はない ③わからない
15	ニ. 放課後等デイサービス等に関すること	【11/29（火）開催 第3回地域自立支援協議会内のご意見】 放課後等デイサービス、移動支援、日中一時支援についてですが、何回使いたいというように回数を書き込めないつくりになっているので修正が必要ではないか。

⇒

⇒

⇒

⇒

⇒

意見を踏まえた対応状況
問39として新たに「問36で「4 利用していない」と回答した方に伺います。サービスを利用していない理由はありますか。（あてはまるもの全てに〇）」の質問を追加させていただきました。また、※現在、障がい福祉サービスを利用していないで、今後も利用の意向がない方は、問40は回答せず、問41へ進んでください。」という一文を追加させていただきました。 また、精神障がい者の場合、利用しているサービスが少ないため、質問項目をわかりやすくできないかのご意見及びサービスの質問順を回答者がわかりやすいように似たサービスをまとめる等工夫があればわかりやすいのではのご意見につきましては、 <u>家に来てくれるサービス・外出を補助してくれるサービス、通所先・仕事先などのサービス、居住先などの提供・短期入所などのサービス等に分類</u> してわかりやすくまとめさせていただきました。
「8 福祉サービス等の利用状況・意向について」の項目だけでなく、アンケート全体を通して可能な限り文章や質問内容を簡素化する等、わかりやすいアンケートに修正させていただきました。
ご意見いただきましたサービスも含め全体的に月単位で利用希望日数及び利用希望回数を選択できるように修正いたしました。

4. 「10 障がいのある方の権利擁護について」に関すること

No.	意見分類	意見内容
16	全体に関すること	差別の具体例を載せるとわかりやすいと思います。 本文「平成28年4月1日に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されました。」と「問47」の間に以下を追記して下さい。（内閣府「障害者差別解消法リーフレットわかりやすい版」を参考にしました。） この法律は、障がいのある人への差別をなくすことで障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指しています。 障がいがあることで障がいのない人と違う扱いを受けて困った、自分の障がいに合った必要な工夫ややり方をしてもらえなくて困ったということが「差別」になります。 〈例〉 ・車いすだからという理由でお店に入れなかった。 ・「障がいがある」という理由だけで、アパートを貸してもらえなかったり、習い事やスポーツクラブに入れなかったりした。 ・聴覚障がいのある人がいるのに、声だけで情報を伝える。 ・視覚障がいのある人に書類を渡すだけで読み上げない。 ・会議に呼ばれたので、わかりやすく説明してくれる人が必要だと伝えたが、用意してもらえなかった。または、わかりやすい資料を用意してもらえなかった。

⇒

意見を踏まえた対応状況
いただいたご意見のとおり「平成28年4月1日に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されました。」の文章と「問47」の間に差別解消法の説明及び具体例を記載させていただきました。

17	問48に関する こと	【11/29(火)開催 第3回地域自立支援協議会内でのご意見】 問48について、知的障がいのある方は4月以降でなどの質問をしても時点の認識が難しい。差別解消法施行前のデータがないのであれば、実際に障がい者の方がどのように感じているのか、差別解消法施行前、施行後構わず調査してはどうか。
18		問48の質問の「差別と感じた出来事がありますか。」を「差別を感じましたか。」に変更。
19	問49に関する こと	問49の質問の「差別と感じた出来事がありましたか。」を「差別を感じましたか。」に変更。
20	問50に関する こと	問50の質問の「差別と感じた出来事について」を「差別について」に変更。
21	問51に関する こと	問51の質問の「良い対応(障がいの特性に必要な配慮)と感じた出来事がありますか。」を「良い対応(障がいの特性に必要な配慮)と感じたことがありますか。」に変更。
22	問52に関する こと	問52の質問の「良い対応と感じた出来事がありましたか。」を「良い対応と感じましたか。」に変更。
23	問55に関する こと	P24の問55で障害者虐待防止センター(寒川町福祉課)の電話番号を記載すると良いと思います。
24	問56に関する こと	問56の質問にご本人はという言葉が入っていないが、故意に省いたものか。そうでなければ他の問と同じように入れた方が良いと思う。

⇒

いただいたご意見のとおり差別解消法施行前のデータがないので、今回のアンケート結果を今後の基礎データとしたいため、時点を決めずに差別解消法施行前、施行後含めた形の質問に修正させていただきました。

⇒

いただいたご意見のとおり修正させていただきました。

⇒

⇒

⇒

⇒

⇒

いただいたご意見のとおり障害者虐待防止センター(寒川町福祉課)の電話番号を記載させていただきました。

⇒

問56の「通報をしても通報者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。」を「ご本人は通報をしても通報者が特定されないよう配慮されることを知っていましたか。」に修正させていただきました。

5. 解答用紙に関すること

No.	意見分類	意見内容
25	解答用紙に関する こと	アンケートへの回答書について 通常的回答書と回答しない人用の回答書を両方作成。回答しない人の理由(サービス利用しない、分からない、めんどう e t c) まるつけするようにする。2分けではなく、回答、回答なし、回答しない、との分けになることで対応が可能になる。
26		回答率が低いという問題ですが、回答してくださった方々も何かしら感じているのではないのでしょうか。ですからアンケートの最後で今回のアンケートの感想を聞いてみたらどうでしょうか(出来るだけ簡単に答えられる形で)。完全とは言えないでしょうが、アンケートに参加しにくい傾向が見えてくるのではないのでしょうか。

⇒

意見を踏まえた対応状況

いただいたご意見についてですが、回答しない方用の回答用紙を作成してしまうと、アンケートに回答していただけるはずだった方を、わからないから、面倒だからなどの理由から回答しない方向に誘導してしまい、回答率を下げってしまう恐れがあるため作成しないことといたしました。

⇒

問62「障がい者が地域で暮らせる社会」、「自立と共生の社会」を目指す、障がい者福祉計画の見直しあたって、ご意見、ご要望などがございましたら、回答用紙にご自由にお書きください。」の文章に「今回のアンケートに関するご意見、ご要望でも構いません。」の一文を追加いたしました。